

## 令和4年度第2回釜石市立小佐野公民館運営審議会開催結果

- 1 日 時 令和5年2月28日(火) 午前10時から午前11時
- 2 場 所 小佐野コミュニティ会館 小ホール(2階)
- 3 出席者 黒田至委員長、吉田千秋委員、松坂喜史委員、長谷川こう子委員、千葉裕之委員  
齋藤雅彦委員  
(事務局)  
市民生活部まちづくり課 平野課長  
小佐野公民館長、菊池拓也主査、小原茜保健師
- 4 欠席者 木谷眞知子委員
- 5 挨拶 まちづくり課平野課長、黒田委員長(挨拶省略)

=====  
6 結 果

【協議】釜石市立公民館規則第9条第1項の規定により、委員長が議長になって議事を進行。  
「令和4年度釜石市立小佐野公民館の事業計画」について別添資料に基づき、それぞれ公民館長が説明をした。

後半には、小佐野公民館活動について、DVDによる説明もした。

(質疑応答)

○議長

只今の説明に質問やご意見はありませんか。

○議長

音楽の力による復興コンサートは、私も皆勤賞で聞いているが、ただ聴いているだけでなく参加型のコンサートにさせていただき、楽しめるものである。

多くの方に聴いてもらいたい。

○平野課長

毎回、面白い企画を考えてくれて、楽しめる事業であり、是非再年度以降も開催していただきたいし、開催場所の集約とかいろいろ検討しながら継続事業にしたいと考えている。

○議長

小中学生に聴かせたかったですね。

○事務局長

今年度は、平日開催が2回になってしまった。

昨年度は、2回のうち1回は土曜日だったため、小中学生の参加があった。

来年度は、開催曜日も検討したいと思います。

○委員

コロナ禍でこの位の開催は素晴らしいが、参加者がどうしても偏ってるのもあると思うが、その点はどうでしょうか？

○事務局長

確かに意欲的な方は、なんにでも参加されていますので、どうしても同じ人が出てくる場合が多いです。

しかし、今年度はソフトボール大会を新たな事業として開催し、今まで公民館事業に参加されない団体にも声をかけて、交流の場を設定したりはした。

しかしながら、やっぱり決まった方の参加が多く、普段参加しない方や1人暮らしの方などどうアプローチしていくかが今後の課題である。

保健師と相談しながら、次へのステップとしたい。

○委員

私は、今回コロナ禍だといっても、これだけの事業をこなして素晴らしいと感じた。

来年度から、コロナに対する考え方が変わって、これ以上事業が増えたら大変じゃないかと心配するほどである。(笑)

あとは、飲食がいつの時点で開催されるのか？

町内の人からも早くサロンとか再開して欲しいという声がある。

もし分かれば教えて欲しい。

○事務局長

何か所かのセンターでは、飲食を再開しているところはあるが、やっぱり黙食や感染症対策しながらとか条件を付けていると思われませんが、徐々にはできるようになると考えております  
センター長会議など各センターの状況を聞きながらどうするかを決定したいと思います。

○委員

よろしくをお願いします。

あと利用者が昨年度より増えている要因は？

○事務局長

小佐野センターは令和5年1月31日現在、12,000人の利用者で釜石センターの約20,000人に次ぐ利用者がある。

今年度は、コロナの状況も落ち着いて、会館を利用する方が増えたのと昨年度より様々な事業を行った事が要因となっていると思います。

○委員

競争ではないが負けないように頑張っ欲しい。

○委員

中学校関係では、総合文化部コラボ事業があるが、今年度は参加できるのではないかと思います。

あと1回目の会議の時にも出席して吹奏楽部の話などもしましたが、発表の場とか検討して頂ければ参加も可能であると思います。

吹奏楽の大会の時期は決まっているので、それ以外は閑散期となりますので検討していただければ、子ども達の聴いていただく機会もできるのかなと思います。

○事務局長

是非、機会を設定できるよう日程についても、ご相談させて下さい。

○委員

私が赴任して、直ぐにコロナ禍になり地域と疎遠になったなと感じていますが、その中でも小佐野センターや議長さんの支援により何とか繋がりが持ててきたかなと思います。文科省からは、今年度中は今までと同様の対策を行い、次年度以降は追って連絡があるとのことですが

5類になれば、今までできなかった事も含め取り組めるのかと考えております。

ただ、3年間止まってしまったふれあいデーに代わる事業をPTAも検討しておりますので、違う形で行えればいかなと思っています。

釜石市は、ラグビーワールドカップをきっかけに9月25日を絆の日として、中学校区ですが児童会を中心に様々な取り組みを行っていますので、地域の方と今まで以上に触れ合える事業を検討していきたい。

先程の説明で小佐野センターの職員さんが地域の清掃を行っているのであれば、小学校も参加して一緒に行くなどして、地域との係わりを行っていきたい。

ジュニアサポーターができて、地域の皆様との係わるきっかけがあったように、できれば理想かなと思います。

○事務局長

確かにふれあいデーの代わりにする行事ができれば、見守り隊の方や地域の方も喜んでいただけだと思いますので、一緒に考えていければと思います。

○委員

先程も話がありましたが、コロナ禍の中、このくらい事業ができたことは評価できる。

来年度は、コロナに対する考え方も緩和されるとのことで、数と質を上げていくように検討して欲しい。

あと、小佐野センター職員で周辺清掃しているとのことでしたが、小川川周辺でゴミが多く捨てられたりしている。

町内で呼びかけも必要であるが、小佐野地区全体でクリーンアップデーなどを設けて開催できないか併せて検討して欲しい。

○委員

あとひとつ、西地区合同事業の他に小佐野地区内のスポーツ事業を開催して欲しい。

グラウンドゴルフとかニュースポーツとかあると思うので。

○議長

私が答えるのも変だけど、元々やっていたが出てくる町内会は限られて、更に限られた人ばかり出てきていた。

この西地区事業は、その輪を広げて甲子、小佐野、中妻の住民が地域を越えて交流しようと考えてた事業で、実際に輪は広がり地区外交流も行われていることは評価されると思う。

○委員

その中に地区内としていくらか増やしていただければと考えている。

○事務局長

次年度の検討事項とします。

○議長

その他、委員の皆様、質問やご意見はありませんか。

皆さん、コロナの感染症対策に十分気をつけながら、新年度を迎えましょう。

ご質問等がないようなので事務局にお返しします。